

令和元年度事業報告書

〔 平成31年4月 1日から
令和2年3月 31日まで 〕

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの当財団の令和元年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

令和元年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、上半期において特別展やイベント等を開催したほか、開催情報の事前告知、マスコミへの取材対応等を行った結果、10万人を超える入館者となりましたが、下半期においては大型台風や新型コロナウイルスの影響を受けた結果、入館者数については、前年度より2万人少ない163千人（対前年比10.8%減）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「錦絵などでみる江戸東京の今昔展」（令和元年6月11日から8月4日まで開催）

この特別展では、当財団が保有する錦絵等82点の作品の中から35点を展示し、江戸東京の昔と今を紹介しました。江戸時代の東京は、東京湾の埋め立て等によって拡張し、世界でも有数の巨大都市となりました。明治以降は都市の近代化とともに、生活様式も変化してきました。明治、大正、昭和、平成を経て令和に至るまでの歴史の中で、錦絵等が描かれた当時の場所を、江戸古地図と現在の地下鉄路線図などで関連付け、各エリアごとに分けて紹介しました。

なお、この特別展の開催にあたり、東京都江戸東京博物館、株式会社こちずライブラリ

の協力をいただきました。

イ「地下鉄における改良工事の歴史展～改良工事がなぜ必要か？～」

(令和元年12月10日から令和2年1月26日まで開催)

この特別展では、地下鉄開業後に生じる沿線人口や旅客流動の変化などにより、乗降人員等が増加し、施設の老朽化なども含め、一部改良又は全面改良の必要性が発生していることを紹介しました。混雑緩和対策、新駅設置、輸送改善などを目的とした営業線の大規模改良、また垂直移動設備の設置などのバリアフリー化といった様々な改良工事の実績について東京メトロを例に、写真、パネル、模型等によって紹介しました。

ウ「地下鉄におけるパブリックアート展～地下のオアシス紹介?!～」

(令和2年3月10日から4月19日まで開催)

この特別展では、地下空間の活用に併せてパブリックアートがいつ頃から、どのようなコンセプトで設置され、どんな作品がどこにあるのか、写真、パネル等で展示紹介しました。2010(平成22)年11月に開催した「パブリックアートの変遷展」を活用しつつ、作品数の増減及び視点を変え、リバイバルとして開催しました。

なお、特別展の開催に際し、新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響により、令和2年2月29日から臨時休館が続き、開催期間を延長したにも係わらず、開館できませんでした。

エ「過去に開催した特別展の変遷」(令和元年9月10日から10月27日まで開催)

地下鉄博物館では、常設展示の補完的意味合いと、詳細な歴史等について、理解を深めていただくため、次の4つの要素を加味した特別展を、上記のとおり年3回程度開催しています。

- ① 特別展開催期間中にお客様からのアンケートによる要望
- ② 過去に開催した特別展のリバイバル(視点を変えて)
- ③ 時節を捉えて開催
- ④ 情報発信としての内容

過去に開催した特別展に関しては、開催時のアンケートの中に、過去に開催した類似のテーマが多くあったことから、過去の展示を抜粋してチラシ等により内容を紹介しました。通常の展示より規模を縮小したミニ特別展として開催しました。

(2) イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、春休み、ゴールデンウィーク及び夏休みなどの各期間を捉えて各種イベントを行いました。特に、夏休みイベントでは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催のバリアフリー教室に協力するとともに、鉄道の日には昔懐かしい紙芝居による「ちかてつのマナー」「ちかてつのれきし」の上演を行いました。また、「ぎんちゃん・まるちゃんふれあい会」、重要文化財指定1001号車の「車内特別公開」についても適時行いました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習を実施したほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習（チャレンジ・ザ・ドリーム）の受入れ等教育実習活動を行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保管するとともに、データベース化した貴重な資料を活用・公開している「メトロアーカイブアルバム」について内容の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施した主な展示物の改良等は、以下のとおりです。

- ア 電車運転シミュレーター路線選択機能の追加（日比谷線・半蔵門線の運転追加）
- イ 千代田線運転シミュレーター映像用プロジェクター更新（経年劣化）
- ウ シャッター開閉器更新（経年劣化）
- エ その他（丸ノ内線2000系車両のHOゲージ模型製作、出入口シャッター障害物感知装置の更新、展示物の多言語化等）

また、10月1日からの消費税率改定に伴う掲示物等の一部変更を行いました。

本年度も地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、なお一層多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等の各種媒体を通じて特別展やイベント開催等を紹介しました。また、東京メトロが主催する車両基地イベントに参加するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材に積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホール及び駅構内において、「メトロコンサート」を次のとおり8回開催しました。

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
地下鉄博物館	R元.5.5	第78回 “キッズコンサート” 出演者：ホンカーズ	328人
	R元.8.31	第79回 “チターとフルート・チェロのアンサンブル” 出演者：ケルバーファミリー	282人
	R元.12.7	第80回 “クリスマスファミリーコンサート” 出演者：ララ・カンツォーネ	255人
	R2.2.15	第81回 “魔法の笛吹き～歌の花たば” 出演者：ル・ヴァン・ファントム+峰岸由佳	308人
渋谷駅構内	R元.5.31	第18回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」「木管五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	682人
	R元.8.7	第19回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォン五重奏」 出演者：『Five by Five』（東京藝術大学卒業生）	425人
	R元.10.19	第20回 ステーションコンサート in 渋谷 「ヴァイオリン+ピアノ」「ピアノ三重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	458人
	R元.10.20	第21回 ステーションコンサート in 渋谷 「ファゴット四重奏」「金管五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	447人

(注) 駅構内でのコンサートのうち 10.19 及び 10.20 は、渋谷音楽祭の一環として開催。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサート (中止)

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者の募集を行い、応募者の中から2,000人を招待し、東京芸術劇場において当初10月12日に開催する予定であった当該コンサートについては、台風19号の影響により中止しました。

(3) 音楽の贈りものコンサート (出張音乐会) の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート (出張音乐会)」を次のとおり10か所で開催しました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者
99	H31.4.25 新規施設	医療財団法人 秀行会 介護老人保護施設 ミレニウム桜台 (練馬区) 出演者：ララ・カンツォーネ	100人
100	R元.5.8	順天堂大学附属 順天堂江東高齢者医療センター (江東区) 出演者：東京都交響楽団ほか	250人
101	R元.5.26	社会福祉法人 あそか会 特別養護老人ホーム 塩浜ホーム (江東区) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	53人
102	R元.6.6 新規施設	社会福祉法人 愛生福祉会 品川区立上大崎特別養護老人ホーム (品川区) 出演者：ララ・カンツォーネ	88人
103	R元.6.13 新規施設	社会福祉法人 池上長寿園 大森高齢者在宅サービスセンター (大田区) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	42人
104	R元.7.5	社会福祉法人 東京栄和会 特別養護老人ホーム なぎさ和楽苑 (江戸川区) 出演者：ララ・カンツォーネ	54人
105	R元.7.17 新規施設	東京都立 水元小合学園 (葛飾市) 出演者：東京都交響楽団ほか	303人
106	R元.9.21	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム 台東 (台東区) 出演者：ララ・カンツォーネ	62人
107	R元.9.24	東京都立 文京盲学校 (文京区) 出演者：東京都交響楽団	59人
108	R元.10.2 新規施設	社会福祉法人 晴山会 特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑 (北区) 出演者：ララ・カンツォーネ	60人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を当財団のホームページやメトロニュース等で募集した結果、9,258点の応募がありました。

3人の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・第一次展示（令和元年10月29日から11月10日まで）

優秀作品及び奨励賞作品の600点を地下鉄博物館に展示

- ・第二次展示（令和元年11月13日から11月19日まで）

優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

- ・第三次展示（令和元年11月21日から11月25日まで）

優秀作品（特選）30点及び奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による第44回写真教室を次のとおり開催しました。

撮影作品の中から優秀作品を選考し、「メトロ文化展 写真の部」として次のとおり展示しました。

- ・第44回 写真教室（講義及び撮影会）（令和元年5月18日開催）

場 所：清澄庭園・芭蕉庵史跡展望庭園・萬年橋

応募者 74人 参加者 45人（定員50人）

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品展示：90点を展示

三越前駅コンコース（令和元年7月13日から7月19日まで）

当初、令和元年10月13日に「お台場周辺」にて開催する予定であった第45回写真教室については、台風19号の影響により中止しました。

なお、作品展示については第44回の作品を、令和2年1月28日から2月9日までの間、地下鉄博物館で展示しました。

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第36回から第40回までの作品もあわせて展示しました。

ウ 文学の部

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団のホームページやメトロニュース等で行いました。応募された作品の中から優秀作品6編を選び、電車内中吊りポスターで掲出するとともに、入選作品20編を選び、「写真の部」と同時に、「メトロ文化展 文学の部」として次のとおり展示しました。

- ・第29回募集（平成31年4月1日から令和元年5月31日まで）

応募数：543編（368人）

選者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品掲出：優秀作品6編

電車内（令和元年7月15日から12月31日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

三越前駅コンコース（令和元年7月13日から7月19日まで）

- ・第30回募集（令和元年10月1日から11月30日まで）

応募数：662編（473人）

選者：同上

作品掲出：優秀作品6編

電車内（令和2年1月15日から6月30日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

三越前駅コンコース（令和2年1月19日から1月24日まで）

なお、作品展示については、各回ごとの作品を集約し、令和2年1月28日から2月9日までの間、地下鉄博物館で全ての作品を展示しました。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を財団のホームページや「Echika 池袋ギャラリー」において紹介しました。

本年度は、中央区と文京区の紹介を次のとおり行いました。

ア 中央区

「いきいき TOKYO 夢 CHUO-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（令和元年10月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和元年10月1日から10月30日まで）

イ 文京区

「いきいき TOKYO 夢 BUNKYO-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（令和2年2月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和2年2月1日から2月27日まで）

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人による実演会を「伝統工芸の職人技を見る！」と題し、次のとおり2回開催しました。

ウ 江戸川区（令和元年6月8日及び9日開催）

場 所：地下鉄博物館ホール
職 人：陶 芸 林 信弘氏、林 理子氏
：金 工 横塚裕多加氏

来 場 者：2日間延べ739人

エ 台東区（令和元年8月24日及び25日開催）

場 所：地下鉄博物館ホール
職 人：江戸簾 田中耕太郎氏
：江戸指物 茂上 豊氏

来 場 者：2日間延べ613人

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり2回開催しました。

ア 第36回 歴史教室・歴史散歩（令和元年11月9日開催）

場 所：「奥州街道千住宿を歩く」（北千住界限）
応募者 146人 参加者 38人（定員50人）
講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第37回 歴史教室・歴史散歩（令和元年11月16日開催）

場 所：同 上 応募者 116人 参加者 43人（定員50人）

講 師：同 上

(7) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示については地元豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
H31.4.27 ～R元.6.27	平成30年度「東京藝術大学 卒業・修了作品展」の中から選ばれた10点の優秀作品（3回に分けて展示）
R元.8.1～8.29	テーマ：「ポスターに見る東京の劇場」 ○展示趣旨 江戸時代から常設のものとして登場した“劇場”の紹介 ○展示作品 築地小劇場、浅草国際劇場、新宿コマスタジアム等での公演ポスター
R元.10.1～10.30	中央区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等
R元.12.27 ～R2.1.30	テーマ：「スポーツで遊ぼう！ーお正月の遊び・絵双六ー」 ○展示趣旨 江戸時代後期から様々な種類で登場した絵双六のうち、スポーツをテーマに作られた作品の紹介。 ○展示作品 自転車技芸雙六、少年運動双六、女子スポーツ双六、オリンピック双六等
R2.2.1～2.27	文京区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行いました。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品、有楽町線豊洲駅に1作品、銀座線上野駅及び末広町駅に各1作品の合計5駅6作品を設置しています。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。

本年度は「スピード&ボーダーレス」というコンセプトのもと、日々忙しく移動される方や、訪日外国人にも電車内やホームでのマナーを直感的に伝えられるよう“BLOCK”等、ひとつの英単語で表現するスタイルのものとししました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ主要駅等において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、車両施設見学、マナーセミナー等を行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第19回 鉄道教室（令和元年8月3日開催）

場 所：東西線深川車両基地構内「深川検車区」

応募者 825人 参加者 59人（定員60人）

内 容：現場見学 検車区構内及び留置車両内

業務体験 車両内機器操作

車両乗車 洗浄線により構内を往復

セミナー 「鉄道を利用するマナーについて」ほか

質疑応答 主に車両関係

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 令和元年度第1回（令和元年6月3日開催）

ア 「平成30年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 令和元年度第2回（令和元年6月18日開催）

ア 「代表理事会長の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

カ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 令和元年度第3回（令和元年11月27日 決議の省略の方法による）

ア 「寄付金の受領に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

イ 「博物館建替積立資金の積立計画等の変更に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

(4) 令和元年度第4回（令和2年3月12日開催）

ア 「寄付金の受領に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「パブリックアート設置積立資金の新設に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「令和2年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み

の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「特定資産取扱規則の改正に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 令和元年度定時評議員会（令和元年6月18日開催）

ア 「平成30年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和元年6月25日 ・代表理事等変更届出
- (2) 令和元年6月27日 ・平成30年度事業報告等提出
- (3) 令和元年12月4日 ・平成30年度事業報告補正提出
- (4) 令和2年3月23日 ・令和2年度事業計画等提出

4 登記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

(1) 令和元年6月18日

ア 重任登記

篠原新治理事

イ 就任登記

安富正文代表理事、小川晴基理事、小林秀徳理事、大井康弘評議員、大野正道評議員

ウ 退任登記

梅崎壽代表理事、萩原博美理事、小坂彰洋評議員、堂免敬一評議員

5 役員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	安 富 正 文
理 事 長	村 松 興 章
専務理事	小 川 晴 基
常務理事	篠 原 新 治
常務理事	賀 山 弘 之
常務理事	小 林 秀 徳
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	吉 田 茂
監 事	鈴 木 信 行

(理事 12人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

大井康弘、大野正道、實方 健、鈴木章生、高橋宏之、辻 恵子、花上嘉成、
平野直樹、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、27人であります。

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

令和2年6月

公益財団法人 メトロ文化財団